

# 平成30年度診療報酬改定に向けた検討について

※本事項についてはあくまで今後検討を行う事項として示したものであり、報酬上の評価の取扱いについては中央社会保険医療協議会において審議されるものである

## 【初診に相当するものとして検討を行うもの】

・遠隔モニタリングを活用した健康相談及び遠隔での診察を契機とした医療機関への受診 等

## 【再診に相当するものとして検討を行うもの】

・喘息患者の呼気量、慢性心不全患者の血圧・体重等のモニタリングを用いた日常の指導による重症化予防 等

(参考)遠隔医療形態モデル(地域医療基盤開発推進研究事業 遠隔診療の有効性・安全生の定量的評価に関する研究報告書より抜粋)

	モデル名称	説明
1	専門的診療支援	テレラジオジー、テレパソロジー、ホルター心電図解析など、特定領域の専門家に専門的診断を委託するモデル(DtoD)。異なる専門領域で、診断能力の差が大きく、依頼者が提供者の能力を修得することは必ずしも狙わない。
2	救急医療支援	救急医療の場で、当該医療機関に搬送された患者の治療を当該医療機関の救急医が見られない場合の各種支援(DtoDtoP)二次搬送トリアージ、二次搬送しない場合の治療指導などの事例がある。
3	在宅医療への適用(ケア)	在宅医療の患者に、訪問診療の間に遠隔診療でフォローを入れる。訪問看護師の訪問日など、患者側に医療者がいれ実施するDtonP/DtoDtoPなどがある。対象者は在宅医療の患者だけでなく、一般的患者への診察もあり得る(DtoP)。
4	専門医の支援、現地研修(同科支援)	医師不足病院に、研修医の診察もしくは専門領域が異なる疾病の患者診察を行う場合、専門診療科や大学医局から支援を行う場合。同診療科・医局内支援でDtonPを実施する場合や遠隔カンファレンスなどの形態がある。異科支援の場合は、へき地医療等で「依頼者の診察能力向上(支援を受けずに診察する能力の習得)」を目指す場合を含める。
5	慢性疾患の重症化予防	心臓ペースメーカ、喘息患者の呼気量、慢性心不全患者の血圧・体重など、モニタリングして日常の指導や、早期通院・入院による「再入院抑制」「憎悪抑制」を行う
6	健康指導・管理	保健師等によるモニタリングでの健康指導、メールやテレビ電話による特定保健指導、重症ではない患者への診察による重症化予防。老人ホーム等の入居者を病院から管理するケースなども考えられる。
7	地域プライマリケア支援(専門診療＝医科支援)	総合診療医(相当)が、他科専門医のバックアップを受けながら、離島・中山間地やへき地での診療を行うケース、他科専門医が地域看護師を指導して診療する場合も含める。日本国内での実践例は少ない。

※「遠隔医療提供体制に関する機能・形態評価案の検討」(長谷川高志、群馬大学医学部付属病院)において、遠隔医療の実態調査等をふまえて、複数地域で実践例があり、幅広く有効性がありそうな医療形態について整理されたもの

# 外来医療の課題(案)②

中 医 協 総 - 5  
2 9 . 2 . 8

## 【診療内容と医療費(続き)】

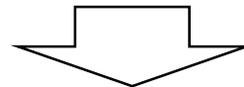
- ・65歳から84歳でみると、高齢になるほど、一人当たり外来医療費は増加傾向である。
- ・処方せん1枚当たりの薬剤種類数はここ数年減少傾向、1種類当たりの投薬日数は、増加傾向である。また、高齢になるほど、一件当たりの薬剤種類数や薬剤点数が高い患者の割合は増加している。
- ・高齢になるほど、一件当たりの薬剤種類数や薬剤点数が高い患者の割合は増加している。
- ・入院外一日当たりの診療報酬点数は、増加傾向であるが、近年、診療所と比較して病院の伸びが大きい。病院では検査、画像診断、注射、診療所では検査、在宅医療が主に増加に寄与している。
- ・診療所の入院外受診延日数の診療科別の内訳をみると、内科が最も多く、入院外一件当たり(入院外レセプト1枚当たり)の受診頻度では、整形外科が他の診療科よりやや多い傾向にある。

## 【診療報酬上の評価】

- ・平成28年度診療報酬改定では、地域包括ケアシステム推進のための取組の強化として、小児かかりつけ医や認知症の主治医機能の評価、また、向精神薬の適切な処方の推進、紹介状なしの大病院受診時の定額負担の導入等の評価を行った。

## 【その他】

- ・近年、遠隔診療や遠隔モニタリング等については、画像転送による診断や在宅における療養指導・助言に加え、慢性疾患の重症化予防や健康指導・管理といった多様なサービス提供モデルが検討されており、様々な状況で実用化に向けた取り組みが行われている。



- 外来医療のニーズの変化や多様性も踏まえ、より質の高い適切な外来医療が提供できるよう、外来患者の特性や病態に応じた評価や、新たなサービス提供のあり方等について、どのように考えるか。